

平成30年度事業評価

分野別評価シート

【子育て・教育】

- [1 子育て支援]
- [2 教育]
- [3 青少年の健全育成]

このシートでは、基本構想の「子育て・教育」について、各分野の中間アウトカムの達成に向け、各計画事業の所管課による「課別評価」の結果を集約し、中間アウトカム全体を俯瞰した組織横断的な視点からの評価を行います。

1 子育て支援に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	1-1 子育て支援
将来像	地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、みんなが楽しく育ち合えるまち

このシートでは、子育て支援分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
特定不妊治療への支援	健康推進課	不妊治療に関する主体的な受診行動が促されている	現状維持
ぶんきょうハッピーペイ ビープロジェクト	健康推進課	妊娠・出産等に関する正しい知識のもと、区民が主体的に健康維持・増進に取り組んでいる	現状維持
妊婦健康診査	健康推進課	母体や胎児の健康が守られている	現状維持
母親・両親学級の実施	保健サービスセンター	妊婦やそのパートナーが、妊娠・出産・子育ての知識を深めている	改善・見直し
文京区版ネウボラ事業	保健サービスセンター	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している	改善・見直し

課別評価 のコメント	母親・両親学級の実施	【改善・見直し】
	「妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている」を達成するためには、妊婦やそのパートナーが適切な時期に妊娠・出産・子育てに関する知識を得られる機会を提供する必要があります。就業している女性（妊婦）にもできるだけ身体に負担をかけない方向で受講の機会を提供できるよう検討していきます。	
課別評価 のコメント	文京区版ネウボラ事業	【改善・見直し】
	妊娠期からの不安や悩みを軽減するためには、妊娠早期から保健師等が妊婦やそのパートナーと顔の見える関係づくりをし、必要な情報提供・助言、及び、サービス利用のための連絡調整をしていくことが有効です。そのため、全ての妊婦と面談が行えるよう事業の周知に努めます。また、産後安心して子育てをするためには、回復が必要な時期に適切に休息をとれることが必要です。支援を要する家庭がタイムリーに産後ケアを利用することができるよう関係機関との連携強化に努めます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム (A) 「妊娠・出産に向けて区民が不安なく健康的に暮らしている」を達成するため、妊娠前からの準備期間を含め、妊娠から出産の一連の流れに応じ、適切なアプローチを実施しています。
より一層、安心して子育てをスタートしてもらうためには、知識の習得や相談機会の確保について強化する必要があります。「母親・両親学級の実施」や「文京区版ネウボラ事業」の改善・見直しを図り、妊娠を望まれる方、また妊婦やパートナーを支援していきます。

[1 子育て支援]

中間アウトカム (B)		子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	児童虐待が予防されている	現状維持
児童虐待防止対策事業	子ども家庭支援センター	児童虐待を防止するための、関係機関や地域のネットワークが構築されている	現状維持
児童相談所設置に向けた検討	子ども家庭支援センター	児童相談体制の充実や切れ目のない支援体制が構築される	改善・見直し
乳幼児家庭支援保健事業	保健サービスセンター	早期発見・適切な支援が行われ、虐待が予防されている	現状維持
文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター (幼児保育課、保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている	改善・見直し
子どもの貧困対策	子育て支援課(生活福祉課、保健サービスセンター、教育総務課、学務課)	経済的困窮にある子どもの健全な生活環境や教育環境が整っている	現状維持
母子生活支援施設保護事業	生活福祉課	困難な事情を抱える母子家庭の児童が安心して暮らしている	現状維持

課別評価 のコメント	児童相談所設置に向けた検討	【改善・見直し】
	(課題) 特別区が同時期に児童相談所を開設するため、区が想定する職員数の確保及び派遣の受入先不足による人材育成が困難となる、といった外部的要因等により、計画に支障が生じる場合があります。 (方向性) 策定している職員の確保・育成計画を常に見直しできるように、人事担当と最新情報を共有し、連携して対応していきます。	
課別評価 のコメント	文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	【改善・見直し】
	アウトリーチ型の専門的発達支援の事業が文京版スターティング・ストロング・プロジェクトの他に発達支援巡回相談事業や学校支援係が担当している専門家チーム派遣、OT・ST派遣があります。効率的効果的な事業展開に向けて事業の連携や見直しを検討していきます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム (B) 「子どもたちの育ちが守られ、健やかに成長している」を達成するため、決して看過することができない虐待への対応のほか、子どもの貧困対策などの課題に対応できる相談体制を整備し、適切な支援につなげるよう取り組んでいます。また、全ての子どもたちの健やかな成長を促進するために乳幼児期からの育児環境を整えるよう取り組みを進めています。

今後、それぞれの専門性がより発揮できるよう、相談支援の核となる児童相談所の設置に向けて、人材の育成、組織の整備を計画的に進めてまいります。また、文京版スターティング・ストロング・プロジェクトと、他のアウトリーチ型の事業等との連携を進め子どもの育ちと子育て支援の効果を高めるよう、改善・見直しを検討していきます。

[1 子育て支援]

中間アウトカム (C)		子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
子ども家庭相談事業	子ども家庭支援センター	各家庭が個々の状況に応じた適切な支援を受けている	現状維持
親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持
家庭教育支援の推進	教育総務課	子育て家庭同士で子育ての知識や経験が共有されている	改善・見直し
子育てひろば事業	子育て支援課 (幼児保育課、児童青少年課)	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持
子育て情報提供事業	子育て支援課	子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービス等を知っている	改善・見直し
地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持
地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持
乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん訪問事業)	保健サービスセンター	子育ての不安や悩みが解消され、母子の健康が守られている	現状維持
文京区版ネウボラ事業	保健サービスセンター	妊娠から出産・子育て期にわたる様々な不安や悩みが解消している	現状維持
母子家庭等自立支援事業	生活福祉課	母子・父子家庭の保護者が、生活の安定につながる知識・技能を習得している	現状維持
子どもの貧困対策	子育て支援課(生活福祉課、保健サービスセンター、教育総務課、学務課)	経済的困窮にある子育て家庭の経済的負担や心理的負担が軽減している	現状維持



課別評価 のコメント	家庭教育支援の推進	【改善・見直し】
	子育て座談会の参加人数が減少傾向にあるので、保護者のニーズに添ったテーマを選定していきます。	
課別評価 のコメント	子育て情報提供事業	【改善・見直し】
	子育て応援メールマガジンは、登録者の利用者アンケートでの満足度は高いものの、登録者数は減少傾向にあります。30年度に新たにチラシ・ポスターを作成し、周知を図っていきます。また、区から発信する事業の情報についても偏りが生じないように、区内への周知を図っていきます。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム (C) 「子育て家庭が抱える子育ての負担や悩みが軽減している」を達成するため、身近な場所で適切な情報が入手でき、悩みを打ち明けられ相談ができる環境を整えてきました。引き続き、子育て世帯が様々な事業を効果的に利用し、必要とする情報が得られるようにしていく必要があります。</p> <p>多くの事業が安定的に運営する中、利用者が減少傾向にある「子育て応援メールマガジン」と「家庭教育支援の推進（子育て座談会）」では、保護者ニーズを捉えつつ、利用者への周知徹底や時宜を捉えたテーマ設定等の工夫を図っていきます。</p>

[1 子育て支援]

中間アウトカム (D)		子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
親子ひろば事業	子ども家庭支援センター	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持
子育てひろば事業	子育て支援課 (幼児保育課、児童青少年課)	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持
ベビーシッターの派遣による子育て支援	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	現状維持
一時保育事業	子育て支援課 (幼児保育課)	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	現状維持
ショートステイ・トワイライトステイ事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	現状維持
地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持
地域子育てステーション	幼児保育課	多くの親子が、子育ての相談や交流の場を利用している	現状維持
私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている	拡充
保育園障害児保育	幼児保育課	特別な配慮を要する児童が、必要な保育を受けている	改善・見直し
多様な保育サービス事業の実施	幼児保育課	保育所待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている	現状維持
文京区版幼児教育・保育カリキュラムの実践と検証	幼児保育課 (教育指導課)	区立保育園と区立幼稚園で、子どもたちが等しく質の高い幼児教育・保育を受けている	現状維持
区立お茶の水女子大学こども園の運営	幼児保育課	子どもたちが、大学の研究成果を生かした、質の高い保育サービス・幼児教育を受けている	現状維持
青柳保育園改築	幼児保育課	子どもたちが、安全・安心な環境で保育されている	現状維持
区立幼稚園の認定こども園化	学務課 (教育指導課)	子どもたちが、ニーズにあった幼児教育・保育を受けている	現状維持
区立幼稚園の預かり保育	学務課	園児が必要な保育を受けている	現状維持
幼稚園特別保育	教育指導課	幼稚園教育の特性を活かしながら、特別な配慮を要する幼児の健やかな成長が促されている	現状維持
育成室の整備拡充	児童青少年課	待機児童が解消し、子どもたちが質の高い保育を受けている	拡充
育成室への障害児受入れ	児童青少年課	特別な配慮を要する児童が、個々に応じた保育を受けている	現状維持
文京版スターティング・ストロング・プロジェクト～人生の始まりこそ力強く～	教育センター (幼児保育課、保健サービスセンター)	専門家チームの支援を受けることにより育児環境が整い、子どもたちの健やかな育ちが促進されている	現状維持
病児・病後児保育事業	子育て支援課	子育て家庭が、一時的に必要な保育サービスを利用している	拡充
民間学童クラブ(都型学童クラブ)による小学生の受入れ	児童青少年課	民間のノウハウを生かした質の高い保育を受けている	現状維持

課別評価のコメント	私立認可保育所の開設を中心とした待機児童対策	【拡充】
	平成30年3月に見直しを行った子ども・子育て支援事業計画におけるニーズ量や待機児童の実態を踏まえ、引き続き認可保育所の開設誘致を行い、保育所待機児童の解消を目指します。また、平成31年10月に予定されている幼児教育無償化によるニーズ量への影響についても検討し、保育所待機児童の解消を目指します。	
課別評価のコメント	保育園障害児保育	【改善・見直し】
	近年、特別な配慮を要する児童数が増加するとともに、配慮の内容も多様化しています。なお、保育園における医療的ケア児の受入れにあたっては、安全・安心な保育環境と協力体制が確立されていることが不可欠であり、施設や子どもの状況に鑑み、安全な環境の確保に期した対応策を考えていく必要があります。	

[1 子育て支援]

課別評価 のコメント	育成室の整備拡充	【拡充】
	育成室の新設に当っては、都型学童クラブ（民間学童クラブ）が新設された地域において、近隣地域も含め育成室の利用希望者の一部が都型学童クラブ（民間学童クラブ）に流れる傾向が見られることから、都型学童クラブ（民間学童クラブ）の新設状況等を的確に捉え、なお必要性の高い地域での育成室の新設を検討する必要があります。 また、子育て家庭の多様なニーズに合ったサービスを選択できるように、放課後全児童向け事業についても今後、事業を推進・充実させていく必要があります。	
課別評価 のコメント	病児・病後児保育事業	【拡充】
	昨年度改定した「文京区子ども・子育て支援事業計画（平成30年3月改定版）」では、直近の利用状況を踏まえた推計を実施し、30年度、31年度とニーズに対する利用定員の不足が生じた結果となりました。 この不足を解消するため、都立駒込病院内における病児保育の早期実施に向けて、東京都と協議を行っています。	



分野別分科会における評価	
<p>中間アウトカム（D）「子育て家庭が、ニーズに合った子育て支援サービスを選択できている」を達成するため、多様化する子育て世帯のライフスタイルに合わせた選択ができるよう、子育て支援サービスの充実に努めています。 「私立認可保育所」「育成室」「病児・病後児保育事業」については、計画的に整備していきます。</p>	

中間アウトカム（E）

地域全体で子育てしやすい環境をつくっている

事業名	主管課（関係課）	事業目的	方向性
ファミリー・サポート・センター事業	子育て支援課	区民同士の相互援助で、子育ての負担が軽減している	改善・見直し
子育てサポーター認定制度	子育て支援課	地域の子育て世帯をサポートする担い手が増え、育成されている	現状維持
地域団体による地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	地域団体による子育ての相談や交流を深める場がつけられている	現状維持
放課後全児童向け事業の推進	児童青少年課	地域住民の関わりの中で、児童の安全・安心な放課後の居場所がつけられている	現状維持
ふれあいいきいきサロンへの助成	福祉政策課	高齢者・障害者・子育て世帯が、地域で交流を深めている	現状維持
バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている	現状維持
バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている	現状維持
コミュニティ道路整備	道路課	歩行者等が安全に安心して利用できる道路環境が整備されている	現状維持



課別評価 のコメント	ファミリー・サポート・センター事業	【改善・見直し】
	依頼会員に対する提供会員数が少ないですが、両会員ともに稼働していない会員が多数いるため、その精査が必要です。本年度、提供会員に向けたアンケート調査を実施しているため、今後、その内容の分析を行い、活動意向の詳細把握及び新たな活動会員の掘り起こしを行うとともに、効率的なマッチングに向けての検討を行います。	



分野別分科会における評価	
<p>中間アウトカム（E）「地域全体で子育てしやすい環境をつくっている」を達成するためには、ソフトとハードの両面における環境整備が必要であり、着実に取り組みが続いているところです。 このうち、「ファミリー・サポート・センター事業」では、需要が供給を上回る状況が続いているため、きめ細かな調整を進め、改善策を見出ししていきます。</p>	

2 教育に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	1-2 教育
将来像	豊かな環境と人とのかかわりの中で、子どもが「個」として尊重され、ともに学びあうまち

このシートでは、教育分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 子どもたちの確かな学力が定着するとともに、健康・体力が向上している

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
科学教育事業	教育センター	自然科学に対する豊かな感性や科学的な見方・考え方が育まれている	現状維持
地域大学等連携事業	教育センター	区内大学等の高度な専門性や多様な人材が、各事業に活用されている	現状維持
健康・体力増進事業	教育センター	子どもたちが健康づくり・体力づくりの基本的な生活習慣を身につけている	拡充
小中連携教育のあり方の検討	教育総務課	子どもたちの発達に応じた小中連携教育の取組が進められている	改善・見直し
学習内容定着状況調査活用事業	教育指導課	区立小・中学校の指導方法が工夫・改善されている	現状維持
英語力向上推進事業	教育指導課	子どもたちの英語力が向上している	拡充
大学との連携による学校活動支援事業	教育指導課	大学との連携によるきめ細かな学習支援ができています	現状維持
保・幼・小・中の連携教育の推進	教育指導課	就学前教育から小・中学校への円滑な接続が図られている	現状維持
教員研修・研究事業	教育センター	教員の資質・能力が向上している	現状維持
教育情報ネットワーク環境整備の充実	学務課	子どもたちの情報活用能力が向上しているとともに、教員の負担軽減が図られ、効果的な授業が行われている	拡充

課別評価 のコメント	健康・体力増進事業	【拡充】
	子どもの体力・運動能力の向上については、着実な取組みにより、成果が出ていますが、目標値への到達は困難な状況です。そこで、公開講座を活用した保護者等への働きかけや、現在の体力向上指導員、健康トレーナーの位置付けを見直し、体力アップトレーナーの配置を検討し、更なる体力向上を推進していきます。	
課別評価 のコメント	小中連携教育のあり方の検討	【改善・見直し】
	「確かな学力が定着するとともに、健康・体力が向上」するためには、小中連携教育の実践を積み重ね、教育効果を高めていくことが重要です。小中連携教育検討委員会は平成29年度で終了しましたが、小中連携教育実践モデル事業は引き続き実施します。加えて、小中連携教育の一環としてプレゼンテーション能力向上プログラムを新たに実施するなど、取組をさらに広げ、小中連携教育の教育効果を高めていきます。	
課別評価 のコメント	英語力向上推進事業	【拡充】
	新学習指導要領では、小学校の外国語活動・外国語科の授業時数が増加しました。また、2021年度から、都立高校の入試が「聞く、読む、話す、書く」の4技能を評価するように変更されます。児童・生徒の英語力を向上させるために、ALTを活用した授業を拡充していく必要があります。（※評価結果の内容一部修正（2019年8月））	
課別評価 のコメント	教育情報ネットワーク環境整備の充実	【拡充】
	平成26・27年度の「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」報告書に記載された整備台数の考え方（中学校は3人に1台、小学校は6人に1台）については、その後の国及び都のICT教育推進の考え方を下回っています。こうした状況を踏まえ、ICT教育推進の観点から、更なる充実を図っていきます。また、指導する教員のスキルアップのため、ICT支援員の派遣についても拡充していく必要があります。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム(A)「子どもたちの確かな学力が定着するとともに、健康・体力が向上している」を達成するためには、既存の教育活動に加え、各分野の専門性を有する多様な人材や新たな教育環境を整備していく必要があります。</p> <p>そのため、体力アップトレーナーやALTなど、教員をサポートする人的配置の拡充について、有効性を見極めながら検討してきます。</p> <p>また、小中連携教育の一環としてプレゼンテーション能力向上プログラムを新たに実施したり、ICT教育を推進するためタブレット端末のさらなる拡充等を図っていきます。</p>

中間アウトカム(B)	子どもたちと地域・伝統文化等との結び付きが強くなっている		
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
学校防災宿泊体験事業	教育指導課	災害時に自らの命を守り、地域にも貢献する意識が醸成されている	現状維持
学校給食における「和食の日」の導入	学務課	和食文化の特徴や良さを理解している	現状維持
文京ふるさと学習プロジェクトの推進	教育指導課	文京区への理解や郷土愛が醸成されている	現状維持
文化財行政の推進	教育総務課	地域の文化財への関心が高まっている	現状維持
アウトリーチ事業	アカデミー推進課	身近な場所で文化・芸術にふれている。	現状維持



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム(B)「子どもたちと地域・伝統文化等との結び付きが強くなっている」を達成するためには、地域の中にある様々な媒体や団体と連携する必要があります。</p> <p>そのため、防災宿泊体験や給食における「和食の日」など、引き続き学校と地域が連携した取組を効果的に継続していきます。</p> <p>また、埋蔵文化財に関する講演会や見学会、アウトリーチ事業など、区報・区ホームページを活用した周知を行い、区民が地域の文化・芸術等への関心を高めることができるように関係課が連携していきます。</p>

中間アウトカム(C)		子どもたちが、個に応じた支援を受けながら、安心して学校生活を送っている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
いじめ問題対策事業	教育指導課	いじめ問題への組織的な対応力が強化している	現状維持
保・幼・小・中の連携教育の推進	教育指導課	就学前教育から小・中学校への円滑な接続が図られている	現状維持
合理的配慮の推進	教育指導課	特別な支援が必要な子どもたちが安心して学校生活を送っている	現状維持
中学校部活動支援	教育指導課	子どもたちが、充実した部活動を行っている	改善・見直し
総合相談事業	教育センター	子どもたちの問題行動や教育・生活上の悩みに対し、適切な相談・支援ができている	拡充

課別評価 のコメント	中学校部活動支援	【改善・見直し】
	指導員の確保について課題が見られます。指導員確保のため、大学等との連携を行っています。今後部活動ガイドラインを策定し、指導員の拡充を図っていきます。	
課別評価 のコメント	総合相談事業	【拡充】
	総合相談事業として複数の相談・支援業務を一体的に行っていますが、利用者数の増加とともに相談内容が複雑かつ高度化し、対応する期間も長期化していることから、各相談業務の密な連携が重要となっています。スムーズな情報共有による利用者への時間的・質的なサービスの向上のためにも、教育センター総合相談に関する統一システムの導入を進めていきます。	

分野別分科会における評価

中間アウトカム(C)「子どもたちが、個に応じた支援を受けながら、安心して学校生活を送っている」を達成するためには、既存の人材やシステムを見直し、新たな仕組みを構築していく必要があります。そのため、中学校における部活動では、ガイドラインを策定するとともに、区内の大学等と連携し、専門性の高い指導ができる人材を確保していきます。また、相談業務間の連携を強化するため、スムーズな情報共有を可能にする統一システムの導入を進めていきます。

中間アウトカム(D) 教育環境の質を地域ぐるみで高めている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
地域大学等連携事業	教育センター	区内大学等の高度な専門性や多様な人材が、各事業に活用されている	現状維持
大学との連携による学校活動支援事業	教育指導課	大学との連携によるきめ細かな学習支援ができている	現状維持
学校支援地域本部	教育総務課	教員の負担が軽減され、子どもたちへのきめ細かな対応につながっている	現状維持
青少年委員による学校支援活動等の推進	教育総務課	地域住民の学校教育への参画が促進されている	現状維持

分野別分科会における評価

中間アウトカム(D)「教育環境の質を地域ぐるみで高めている」を達成するためには、学校だけでなく地域ぐるみで教育環境の質を高めていく必要があります。地域住民等による学校教育支援や区内大学の専門性や多様な人材を活用しながら、着実に各事業が実施されています。

中間アウトカム(E)		子どもたちが、安全で快適な環境で学校生活を送っている	
事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
老朽校舎の改築	学務課	改築校舎等の将来像や課題についての検討が進んでいる	現状維持
外壁・サッシ改修	学務課	安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持
給食室の整備	学務課	衛生的な環境で、学校給食が提供されている	現状維持
校庭の改修	学務課	安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持
学校施設の快適性向上	学務課	安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持
誠之小学校改築	学務課	多様な学習活動に対応した安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持
明化小学校等改築	学務課	多様な学習活動に対応した安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持
柳町小学校等改築	学務課	多様な学習活動に対応した安全で快適な学校施設が整備されている	現状維持
八ヶ岳高原学園の改修	学務課	安全で快適な校外施設が整備されている	拡充



課別評価 のコメント	八ヶ岳高原学園の改修	【拡充】
	施設の状況や各学校から寄せられる意見を踏まえ、より長期間快適に使い続けられる施設にするため、改修の規模を拡大します。	



分野別分科会における評価
<p>中間アウトカム(E)「子どもたちが、安全で快適な環境で学校生活を送っている」を達成するためには、多様な学習活動に対応するとともに、将来にわたって安全で快適な教育環境を確保していく必要があります。</p> <p>そのため、八ヶ岳高原学園も含めた学校施設について、施設の状況や学校等の意見を踏まえつつ、計画的な改修・改築を行っていくことが求められます。</p>

3 青少年の健全育成に関する分野別評価

基本構想実施計画 中項目	1-3 青少年の健全育成
将来像	地域で人とかかわりを学びながら、光る笑顔の青少年が育つまち

このシートでは、青少年の健全育成分野の計画事業の所管課が行った課別評価を踏まえ、**中間アウトカムを達成するために必要なこと**について、分野別分科会における**組織横断的な視点**からの評価を示します。

中間アウトカム (A) 青少年が主体的に地域とかかわり、社会性を身につけている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
青少年健全育成会活動支援	児童青少年課	青少年が家族や地域との結びつきを深めている	現状維持
青少年の社会参加推進事業	児童青少年課	青少年が主体的に社会参加している	現状維持
青少年プラザ事業	児童青少年課	中高生世代が、自主的に活動・交流している	現状維持
STEP～ひきこもり等自立支援事業～	児童青少年課	ひきこもり状態にある若者の社会参加が促されている	現状維持

分野別分科会における評価

中間アウトカム(A)「青少年が主体的に地域とかかわり、社会性を身につけている」を達成するためには、青少年健全育成会等が実施する事業や青少年プラザでの活動に企画段階から参画することが重要であり、各事業の実施等を通して、参画が促進されています。

中間アウトカム (B) 青少年が健やかに育つことができる地域環境がつけられている

事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性
青少年健全育成会活動支援	児童青少年課	地域の青少年健全育成活動が活発に行われている	現状維持
文京区社会を明るくする運動	福祉政策課	犯罪や非行の防止、更生保護への理解が深まっている	現状維持
子ども110番ステッカー事業	児童青少年課	子どもたちに対する犯罪抑止活動に、大人が意識を持って関わっている	改善・見直し

課別評価のコメント

子ども110番ステッカー事業

【改善・見直し】

事業目的を達成するためには、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組が重要となります。子ども110番ステッカー事業については、高齢や転居等による協力件数の減少傾向があり、子どもたちが駆け込みやすい事業所等を中心に新規協力を依頼することにより、協力件数の増加を図ります。

分野別分科会における評価

中間アウトカム(B)「青少年が健やかに育つことができる地域環境がつけられている」を達成するためには、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組が重要となります。
各事業において、取組が着実に実施されていますが、子ども110番ステッカー事業については、高齢や転居等による協力件数の減少傾向を踏まえ、子どもたちが駆け込みやすい事業所等を中心に新規協力を依頼し、協力件数の増加を図ることで、地域ぐるみで青少年を温かく見守る取組を推進する必要があります。